

**輪投げ ルール**  
**(常総ローカルルール)**

**常総市社会福祉協議会**

### 【競技者数】

- ・競技者は、1チーム4名とする。
- ・男女混合チームとすること。但し、ローカルルールに従うこととし、常総市では交流会を兼ねた大会の場合は男女混合にならないチームも決勝へ進めるものとする。

### 【競技方法】

- ・1名9投とし、4名×9投(36投)を1セットとする。
- ・競技は、ジャンケンにより勝ったチームが先攻・後攻を選択できる。先攻・後攻が決まったら、先攻チームから1セットずつ交互に投げる。  
予選・決勝ともに3セット投げる。
- ・予選リーグはリンク戦、決勝トーナメントで対戦する。
- ・投輪位置(輪を投げるライン幅2m)から台までの距離は、5mとする。

### 【競技用具】

- ・輪投げ台(60cm×60cmの正方形)  
国際輪投げ協会公認台を使用すること。  
(公認台は右図の表示どおり)  
各数字の上には支柱を固定し、台裏に傾斜をつけるための脚をつけるものとする。
- ・リング(輪)  
樹脂製で外径19.0、内径15.0、重量110g  
1チーム1名 赤4本・青4本・黄1本 合計9本

4	9	2
3	5	7
8	1	6

### 【競技コート】

- ・ジュニアルール 輪投げ台と投輪ラインとの距離を3mとする。
- ・一般ルール 輪投げ台と投輪ラインとの距離は5mとする。  
常総市では輪投げ台と投輪ラインとの距離を4m×4mの正方形コートとする。

### 【競技方法】

公式ルールでは単独投輪方式と交互投輪方式がありますが、常総市では別ルールのため、この二つの方式は説明を省略します。

ここからは常総市での競技方法を説明します。

### 【投輪順】

ジャンケンにより勝ったチームが先攻・後攻を選択する。  
選択後、輪投げ得点表に各自、チーム名、氏名を記入する。  
別紙 例1 と 例2 を参照。

### 【投げ方】

リングは、どのように持って投げても構わない。但し、投輪時は両足とも床についている状態で行い、投げたリングが輪投げ台若しくは床に着地し、先に投輪したリングが完全に静止してから次のリングを投げること。

### 【予選順位の設定】

次の順で決定する。

- ①勝ち数
- ②総得点(合計得点の多い方)
- ③同じ場合には代表者による決定戦を行う。ただし、5投とする。

### 【決勝トーナメントでの勝負の設定】

同得点の場合、代表者による決定戦を行う。この場合、投数を5投とするが、それでも勝負がつかないときは、決まるまで5投勝負を行う。

### 【得点】

#### 有効なリング

- ・得点は、台の表示どおりに数える。
- ・投げたリングが、台の上でバウンドして杭に入った場合は、得点として認める。

#### 無効なリング

- ・投輪位置からリングを投げるとき、プレーヤーは投輪ラインを踏んだり、越えたりして投げたリングは得点に加えない。
- ・1本の杭にリングが2つ以上入っても点数は加算されないものとする。
- ・投げたリングが、台手前の地面にバウンドして杭に入った場合は、得点として認めない。
- ・投げたリングが、杭の間にある状態又は杭に引っ掛かって立ち上がったような状態になった場合は、得点として認めない。

※得点にならないリングはその都度、審判になったチームが得点ボードから取り除くこと。